

機 密  
南東方面部隊戰鬪概報第一〇三五 電 〇〇六六五 作

南東方面部隊戰鬪概報着信處所

機密第一〇七三五番電

部隊

南方面戰鬪概報第一二二號 (二月三十一日)

一 R O O 七〇二? 一〇八〇四? 二機延約一〇機、銃擊一四三

五一 一五二六? 三四 一機偵察一七四二中型一機北西進

三戰果四〇一機擊破 被害敵素工場一棟倒潰。

東通註 誤字 多 爲遅延ス

通一九六 呂二日 (八九九五 E) 四通放 渡邊 (志田)

二 一 受信一九五二 開始〇〇一〇 歸了〇一五〇 電〇〇五二七 作 概

東 通・四 通 六 七 警 備 隊

機密第〇一〇八三〇番電

宛 第四艦隊司令長官

通報 聯合艦隊司令長官 大海參一部長

一月下旬敵機(艦)動靜

一 RYO 二十一日 二十三日 二十四日 二十五日 PBY 各一機 〇八〇〇頃

偵察二十二日哨戒艇(三〇〇頃一機) 〇五一五・七〇度方向ヨリ近

接東方海面距岸三萬五千米附近ヨリ行動 〇八三〇 七〇度方向ニサル

二 RYD 二十一日 二十三日 二十四日 二十五日 PBY 各一機 〇六〇〇乃

至〇九三〇頃偵察ス

三 二十六日以後敵機見ヌ

一月十一日 月一Bラ三(五一二)機(以迄) 中村(久保田)

20. 2. 20

ド

天

作

緊急

二二二  
受信二二〇二五〇  
譯始二二〇二五九

譯了二二二一五  
電〇〇四四三  
作

二十根

● 二十二根戦闘概報着信艦所

● 二十八航戦P。北ボルネオ守備隊（陸軍）

機密第〇二〇九二〇番電

第二警備部隊戦闘概報

二月一日〇一一五ヨリ〇二四五迄大型（B-124ト推定）一機バリ

クババンニ偵察雲上ヨリ北方山上中ニ投弾戦果被害ナシ。

通五一八 協作（六一二二、五〇）二十一通 櫻井（雨谷）

作戰緊急

二 一 一 受信 一 二 三 〇〇 譯了 一 三 二 五 電 〇 〇 二 一 一 一 潛作概〇



- 作戰關係重要電報。一潜水部隊
- 大海參一部。聯合艦隊口。八潛戰
- 東京通信隊。一聯合艦隊基地航空部隊
- 一聯合通信隊。一南西方面艦隊

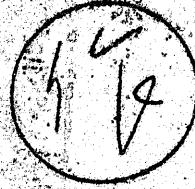
機密第〇一一〇一六番電

先遣部隊電令作第 二二號

- 一 呂五五潛ハ地點ツネネ〇〇ツネト附近ヲ經テ呂一一五潛ノ哨區(北緯一三度三〇分線以南ノ海域)ニ就ケ
- 二 呂一一五潛ハ二月三日頃撤哨セシムル豫定。

通二三五 呂一四ケ三( B ) 吳道 宮野(島田)

一 受信二〇〇八  
 二 電話二二二〇〇  
 〇〇〇三七七  
 〇〇〇四七七九  
 兵作 備〇



● 海上 〇〇〇〇  
 ● 九三六 航空隊

機密 〇一〇一八 香電 三分ノ二

省隊通信状況左ノ通

一 佛印方面基地兵器人員（電信暗號ノ類）

カムラン長波一・短波二・短移動四中五號一・特受九（三・三）外

三十一特根一一・三一） カットライキノン短移動一・一八試空五

號一・特受二（三、一） 西貢長波一・短波三、短移動特受一〇

（二・一（九三空ノモノ） ナトラン用短移動電信機一・空五號

一・特受ニチカムランツーターン用空一號特受ニチカットライサイゴ

通三六四 三九二 呂一Bヶ四（六二三五EG）十通

三浦光（石田）

(1)

20. 2. 2.

用短移動電信機二空一號ツイーラン用短移動電信機一昭南ニ準備シ  
アリ

ニ配備状況（一區前報）

昭南一ツケニツケ（三十一日ヨリ）嶺西基地系丙種甲種カムラン、  
カツトライ、キノン第四基地系（〇六〇〇ヨリ〇〇〇〇迄偶數時始）  
丙種（但シキノンハ未完成）西方基地ハ昭南カムラン配員ノ豫定サ  
イゴン基地整備迄ハカムラン中樞基地トス（昭和十九年十二月三  
十一日附管線機密第三七三號ノ資料至急再送）

三人員

一項ノ外昭南（一五、八）ベチンヨリ未帰還ノ者（六、一）ボルネ  
オニアルモノ（一〇、三）。

人

二  
始信一五二八  
了了一五三四  
〇〇三〇二  
航作  
本〇

緊急

作

海 九三一航空隊  
護 總 口

護 衛 艦 隊 口

機密第〇一一二〇六番電

發 參謀長

貴機密第三一一六五二番電關聯

隊務ニ支障ナケレバ台灣進出艦攻隊ハ真官直率ニテ差支ナキ内意ナリ

通三一  
呂一  
一三五二〇  
高通 美崎 糸見

20. 2. 2.

二  
一  
受信 一七六〇〇  
譯了 一七二五  
電 〇〇〇三二九  
作 概

緊 急  
總無線艦所用共通符號



海上護衛總司令部  
海參一部・横防戰下・第九〇二空八丈島派遣隊  
横 鎮

機密第〇一二二五番電 二分ノ二

發 第四海防艦長

戰聞概報（一月三十一日）

四一二七船團護衛、針路三五〇度ニテ航行中一〇二五右前方五〇〇  
〇米ニ直衛機（ヨ〇一三〇二）ノ右旋回ヲ認メ現場ニ急行セルニ該  
飛行機ノ爆墜ニ依リ流出セル敵艦ノ重油ヲ認メ附近掃蕩中、一二三  
〇重油ノ流出點附近ニ敵艦探知之ヲ一五三〇迄保續探知（推進器聽

通 四三〇九一 於 一四（三）横 通 小野寺（太 田）

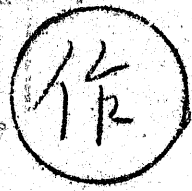
20. 2. 2.



取ヒズ) 爆 雷 攻撃(二十一個、 深度九〇、一二〇、一五〇米)  
 ヲ加ヘ攻撃後長サ三〇〇米、幅五〇〇米ニ重油流出擴大セルモ湧出  
 原ヲ確認シ得ズ、附近水深四〇〇米、一晝夜ニ亘リ監視掃蕩續行セ  
 ルモ感度ナシ、墜沈概ネ確實ト認ム。



二一 受信一六二九 譯了一八〇四 電〇〇三九〇 航作 本概〇



海上護衛總口・濟州島航空基地  
鹿屋航空基地

機密第〇一一三〇六番電

發 八〇一空司令

海護總機密第三一一六五一番電關聯  
天候回復次第陸攻六機人員八〇名「内准士官以上九」濟州島ニ進出  
豫定ナルトコロ一式陸攻ノ飛行場使用可能ノ程度宿泊給與燃彈準備  
ニ關シ至急通知ヲ得度。

通三八四 呂一Bヶ四(七六〇五K)鹿屋航空基地 西村(阿部)

20. 2. 2.

二一 話受一五一〇

電〇〇三〇一 疎通

作賊特別緊急

聯合艦隊口・三航空艦隊口・横領・大阪警備府・父根下  
母島、硫黄島各警備隊

機密電話第〇一

發 大和田通信隊司令

「マリアナ」所在は「二九」ニシテ本日「二〇」八ヨリ「二二」五迄出撃時  
ノ電波輻射ヲサセルモノ延三十機以上ニ及ベリ本日夕刻本土方面及小  
笠原群島警戒ヲ要ス。

局長	三	三	三	三	三	三	三	三
一課長	一	一	一	一	一	一	一	一
A	山	山	山	山	山	山	山	山
B	山	山	山	山	山	山	山	山
J	山	山	山	山	山	山	山	山
C	山	山	山	山	山	山	山	山
D	山	山	山	山	山	山	山	山

20. 2. 2.

通三二七 オ一四

神田(三石)

二一 受領二〇三五一 機密第〇一一五一一七番電 二二分ノ二  
丁三三四五 電〇〇五ノ〇 航空本部

緊急



● 銀 警  
● 佐 銀  
● 大海参一部。聯合艦隊口。支那方面艦隊口。南作戦部隊

機密第〇一一五一一七番電 二二分ノ二

宛 西軍部参謀長

通報 防總参謀長 支那派遣軍参謀長

三佐銀及銀警擔任區域ニ於ケル航行船團ニ對スル對空警戒ハ主トシ  
テ陸軍機之ヲ擔任情況ニ依リ佐銀防空航空兵力ヲ以テ積局的ニ協  
力當地防空航空部隊ハ特別ノ場合ノ外現配備ノ儘右作戦ヲ實施ス  
ルモノトス。

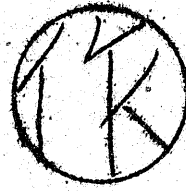
（電信課註 本電二分ノ一未着）

通電九七 昌一Bケ三（B）佐通放

池川（護衛）

28. 2. 3.

二 一 受信 二〇六二二  
 開始 二〇一五  
 終了 二二一〇  
 電〇〇四五六  
 航作 本概〇

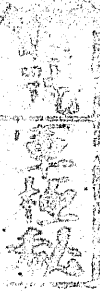


急 作

九 三 一 空

海上護衛總隊第一護衛隊  
 九〇一空・三三二空・大村  
 佐伯・吳・鎮・九〇一空・三三二空・大村  
 航空基地

機密 第一〇一五三〇番電



一 電令第五二號ニ依ル當隊新竹進出要領左ノ通豫定ス  
 一 第一次空輸六機二月四日〇五〇五佐伯發 第二次空輸 十機二月六日  
 〇八〇〇佐伯發  
 二 輸送機六機三日迄ニ佐伯ニ空輸四日(使用)可能大村空ノ六機進出ハ  
 搭乗員ヲ含ム一六〇名

通四五一 呂一(日) 吳通 細野(雨) 谷

20. 2. 2.



二 一 受信 〇二二〇六 譯了 〇六〇〇 電 〇〇五七二  
 譯始 〇四二〇〇 參作 本概

至 急



● 横領戰團概報着信盤所  
 東部軍司令官(電信課氣付)

機密第〇一一六〇〇番電

機密第二八〇〇二九番電

横領戰團概報(一月二十七日)中戰果被害ノ左ノ通訂正ス

三 戰果

擊墜八機 横須賀航空隊二機 第三〇二航空隊六機 擊破二三機 横須賀航

空隊八機 三〇二空一五機

三 被害

自燃三〇二航空隊月光二機 零式夜戰一機 (内月光零式夜戰各一機)

戰圖經過不明

通五五六 呂

局長	一課長	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	山内久保田

二 父信一七三五 諱了〇五二五 電〇〇五七五 作 樹  
二 諱始〇四一〇

作

父根 戰聞概報着信艦所

機密第〇一一六〇四番電

戰聞概報一月三十一日

一、一七〇〇ヨリ二〇〇〇迄ノ間敵大型機ハ單機又ハ數機ニテ三次ニ亘  
リ近接セルモ來襲セザリシ處其ノ後二一五二及二二〇四各單機ニテ  
灣口上空侵入大根掃射及其ノ西方海面ニ磁氣機雷計四個投下（内二  
個陸上）

ニ戰果被害ナシ

通四一八 呂一ヨケ四 ( ) 横通 廣田 (三石)

20. 2. 2.

緊急

二二 受信一三三〇 譯了一四二八 電〇〇七九三 作 概  
開始一三四九

ヤツブ航空基地



五基地航空部隊戦闘概報着信監所  
三〇根

機密第〇一一六四五番電

一日戦闘概報

一、〇八四五―〇九一五グラマンTBF―一・八機大艇一機P―三八  
・一機〇度ヨリ進入マツブ八〇九及一七九高地投弾後七〇度ニ去  
ル一三四五―一四二五P四U―一 八機P―三八 一機二六〇度  
大艇一機四〇度ヨリ來襲ルモ此處航路及南海岸線附近航路後二  
四〇度ニ去ル

其ノ他視界内飛翔ダグラス東行三機西行一機  
六、戦果ナシ

三、被害ナシ  
八八八 呂一呂ヲ十四(一五七一〇)三通 畑内(イイダ)

20. 2. 3





二  
二  
開始 〇三〇一五  
譯了 〇九〇五  
電 〇〇七五三九〇  
作 概

至 急		〇	
		〇	〇
謀長	七基地航空隊	L	〇
A	B	K	〇
E	J	C	〇
機密第〇一一九一四番電		硫黃島航空基地	
二分ノ一、二		信 所	

機密第〇一一九一四番電 二分ノ一、二

B二AB 戰團概報第一五七號 (二月一日) 其ノ二

一四四〇 一九〇度一八八 一五〇度一〇五 一六〇度一〇五 一六〇度一〇五 一六〇度一〇五

知零戰一機陸軍一式戰團機三機邀撃B一三四 一一機十機二編隊一

五〇七 一五三六東山ヨリ海岸第二飛行場東側B一三四東山海岸投

彈南方ニ遁走

(イ) 戦果ナシ

(ロ) 被害

通五五九二  
通五九九

呂一Bヶ四 (五〇〇KC) 父通

石垣 (林部) (一)

(一) 人員輕傷二三

(二) 無線兵器整備所燒失 (兵器異狀ナシ)

(三) 幕舎破損五

(四) 發射彈數 (一門當リ保有彈數) 十二 輝高角砲二八 (一一三) 七

五 輝野戰高角砲一四 (一三六)

二 天山二機一式戰鬪機 二機ヲ以テU區及迴邊哨戒ヲ實施敵ヲ見ズ

三 〇八一五發進途中天候不良ノ爲反轉一〇四〇ヨリ一七二〇

船團直衛 U三九 〇八二〇發進進出距離三〇〇哩左折一〇〇哩

先端通過時刻一〇三六

三 明日實動天山二機零戰二機 一式戰鬪機三機。

人

二二 受信一〇七〇〇五 譯了一一四一 電〇〇七三〇 疎通

至 急 二 一 通

(着) X情報着信艦所・二遊撃部隊P・高望・聯合艦隊P・九根P

機密第〇一一九五九番電 二分ノ二

X情報綜合(一月下旬)(括弧内ハ前回数)

二十九日ニ來襲セル敵KDB其ノ後ノ動向急變セルモパース放送

聯合國艦艇三十日以降活潑化並ニ警戒艦艇出系多キ新ヨリ西濠方

面行動中ト認ム 潜水艦概略左ノ通り濠北方面(四)北西濠洲六佛印(二)シヤ

ワ海ニ測定セルモノ五從來ニ比シ多シ南支那海方面パース系潜水

艦一〇(一八)

三、商船 (イ)商船出現狀況西濠方面ニ測定セルモノ二五(二四)パースト 七七二二 呂一Bラ十八(六一二三五)C(二一)通 櫻井・谷島 (七二六)

信セルモノ三七、四九、五A區出系數三、三

(ロ) 北西濠方面船團一北濠方面船團二歐ターウインニ向ケ航行中入算  
大ナリ

四空軍

(イ) ターウイン系哨戒二十八日二二機出系異常ヲ呈セシ他著變ナシ

(ロ) レイテ地區哨戒平均二〇機内台湾方面夜間燦燦兼哨戒ニ當レル  
モノ平均九 二十九日以降一部ハサンホセヨリ發進シアリ

(ハ) サンホセ地區平均一九機活潑化シ夜間哨戒飛行艇八機スラバヤノ

三五五度線以東南支那海沿岸ヲ廣範圍ニ亘リ哨戒シアリ哨區先端  
到着時刻概ネ〇〇〇夜〇五〇〇他ニ晝間哨戒機アルモ當隊測  
定不能ニ平均モロタイハピアク島一三

(一) 東通註 本電誤字極メテ多シ

下

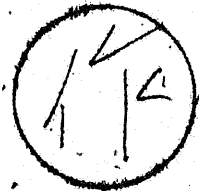
二 二 作戰緊急

受信開始 〇〇三〇七 〇〇三三五

〇丁〇四三五

電 〇〇五九〇

作 概



● 九〇一航空隊 (東港航空基地)

● 海上護衛線口・九〇一空艦派遣隊 (南支飛行機隊) ・一護衛艦隊口

● 南作戦部隊 (南號作戦部隊)

機密第〇一二二二六番電

機密第〇一一二三〇番電ノ戦國機報追加

一 人員損害戦死一九 (内士官三) 重傷七中傷七 (内士官一) 輕傷一二

其ノ他 航空廠及民間ニ多少被害アル見込

二 施設損害輕微

三 本日ノ投下爆彈ハ何レモ一〇地程度ニシテ投下彈數約二〇〇〇發内  
隊内約一〇〇〇發人警殺傷ヲ目的トスル如シ瞬發ニシテ彈体内ニ螺  
旋狀鋼線ヲ有シ爆發セバ寸斷シ水平的ニ飛彈スルモノ多シ。

通六九四 才一四 (四五七二、五三〇) 高放

岑 (塩田)

20. 2. 20

人

二二 受信一六一七 開始二二三〇 了二三三〇 電〇〇九一七 作概

高 警

作

海軍省。軍司令部。高雄警備府第一警報着信艦所。?

支那方面艦隊口。佐領。沖繩根。二連支艦隊口

機密第〇二〇一三四番電 二分ノ二二

爆

一日一〇一五ヨリ二二一〇ノ間菲島出撃ノ戦 聯合延七四機 (B1三四  
二四機 PBM1一四機 PI三八 九機 PI四七 三七機) 二次ニ  
分レテ高雄地區ニ侵入東港海面及鳳山南方 (陸軍施設地帯) ニ投擲退去  
一 戦果 B1二四 一機撃破  
二 被害東港基地零式水偵四零式觀測機一炎上被彈零水二 (内二機修理不  
能)

通九六二  
通一〇六五

呂一Bヶ四 (一三五二〇K) 高通 齋藤。渡邊 (角田) (一)

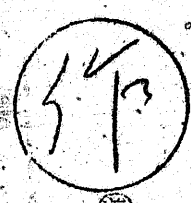
20. 2. 3-

戦死傷一二二名炎上車庫一格納庫 小火災アリタルモ直ニ鎮火其ノ他  
 空廠分工場兵器ニ輕少ノ損害アリ  
 三爆彈ハ一〇乃至二〇班ノ小型隣發ニシテ數百發ヲ一連地域ニ散布セリ。

人

二二二  
又信〇九〇八  
始一〇五五  
了二二二五  
〇〇八一三  
参作  
本機

至  
急



南東方面部隊戦闘報着信處所

機密第〇二〇六五五番電

RN方面部隊戦闘報第一二三號(二月一日)

一R〇〇九一五一五五五R四U二機P四?四? 六機哨戒艦爆撃〇六

二八一〇六五二R四U四機〇七〇七一〇九一七同二機「ブツブツ

「附近銃爆撃一六三八三三四 一機南東進〇四四九・〇六四三・

一〇四五各PBY一機一二〇二・一四〇九各B三四 一機北西進

三戦果ナシ被害農園三五〇坪。

通七六三 呂二Bラ十一(九八九〇)八通 半澤(イイダ)

20. 2. 3.



二 三 受信了〇〇五六  
了〇二四〇 電〇一〇八〇 作 概

緊急

二三根戦闘概報着信處所

機密 〇二〇七一三番電

戦闘概報「二月一日」

一〇二五一一〇五八双發一機「スンベ」  
「リクパン」方面旋回偵察

三一二三〇一三四五「ポーフアイタ」  
八機、單發二機「トモホシ」

地區銃撃

戦果、破「ポーフアイタ」一機  
陸軍地上砲火ニ依リ「ポーフア

イター」二機撃墜（内一機不確實）  
被害、陸軍倉庫一原住民家屋約

三〇倒壊陸軍兵舎二中破

三一七二二「ポーフアイタ」二機  
「トンタノ」「ソヤホシ」「メナド」

地區銃撃一八三〇撃退戦果ナシ  
被害陸軍トラック一大破。

三一二八二 出「六一二二、五〇」  
二一

20. 2. 3-

二二 受信一九〇五 驛了一九三五 電〇一〇一二 航作 本機

至 急



共

符



九三一空總航空基地(派遣隊)

海上護衛隊口。佐領・支那方面艦隊口。警  
七尾集地管理官

機密第〇二〇九五一番電

九五一空電令第六四號

大村派遣隊ハ遠ニ陸攻兵力ヲ濟州基地ニ派遣主トシテ黃海南部ノ  
潛作戦ニ關シ鎮守兵力ニ協力スベシ丹羽少佐ハ同基地ニテリテ本兵  
力ヲ指揮スベシ。

通一一一〇 日一三ヶ箇(九八三〇) 佐文 津(六) 日

人

作

急  
受給一三五〇〇一  
了二四〇〇七六一  
作給〇

七基地航空部隊戦闘概報着信艦所

機密第〇二〇九五三番電

二一A B 戦闘概報第一五八號（二月二日）其ノ一

一、一日一九五三ヨリ二日〇二一〇迄敵大型機各一機八次ニ亘リ來襲

元山。二段岩島海岸及遊邊海中ニ投彈

二、被害輕傷者三幕舎二破損

三、發射彈數（一門平均誤有彈數）七・五纏野戰高角砲三（八五一）

八七五 呂一Bケ四（一〇二〇〇kg）父通 山崎（川崎）

20. 2. 3

人



二二 受信一六一五〇 譯始一六一五〇 丁一六四〇 電〇〇八八六 作機 航本〇

練習聯合航空總隊

出水航空基地

航本總務部。領管。一二聯空

機密第〇二一〇〇九番電

發 參謀長

三月一日附光洲航空隊開隊セラルル内意ニ付基地移動準備促進  
相成度。

通九五四 口一Dケ四 (B) 横通

安田 (田中)

20. 2. 3-

人

二二 受信一四四九 譯丁一六〇五 〇〇九〇五 作 概

至 急

第二道支艦隊

大海參一部。聯合艦隊。海上護衛總口。支那方面艦隊

高 濟。香根。厦根。海南



密第〇二一〇二九番電

陸軍作戰狀況

- 一、香港汕頭間ノ沿岸掃蕩戰ハ三十一日概々終了セリ
- 二、遂川贛縣地區ノ攻略完了セリ。

通九三七 口二Bラ十八(一三五二〇) 高 通 目 録 〆 餘



警

急

二

受信一三五〇四

譯了一四五二 電〇〇八二五

航作機本〇

高雄警備府

東通・海護總部各戸・高警第一警報着信機所  
聯合艦隊戸

支那方面艦隊戸・二連支艦隊戸・佐領・沖根

機密第〇二一一〇五番電

二月一日二二五四ヨリ二日〇五一四迄敵B一四約一〇機四次ニ互  
リ台湾南部ニ來襲岡山小山嶺山鷲嶺鼻方面ニ投彈退去セリ戦果ナシ被害  
燒夷彈投下ニ依リ火災アリタルモ直ニ鎮火ス軍事施設ニ被害ナシ尙  
今次敵ハ使用電子變更セリ

通八八三

呂一Bケ四(九一四五KC)高放

平島(上野)

20. 2. 3-

人

二二 受信一二五三 譯了一四一五 電〇〇七六八 作 概  
緊 急 譯始一三四二 二二根 下



二二根戰鬥概報着信監所  
二八根下。北ポルネオ守備隊△(陸軍)

二一〇〇五

二KB戰鬥概報 二月二日

〇二一五ヨリ〇二三〇迄敵大型機一機(B-1)二四ト推定ハリツク  
ハバン地區侵入シ港内ニ爆彈數發投下市内ニ傳單散布東方ニ遁走  
戦果被害ナシ。

通八七八

協ヒ亂二十二(一八三)六七五(二一)通

川崎(新井)

20. 2. 34

Handwritten mark resembling 'L' or 'J'.

二 二 緊 急

受信一五四六  
譯始一六三〇

譯了一九〇〇

電〇〇一〇〇二〇五

航本・潛艦  
作概〇



◎ ◎

六艦隊口・一航空艦隊口・高警・一輸送戰隊  
◎ ◎ 大本營 海軍部・聯合艦隊口

◎ 六

機密第〇二一一一五番電 二分ノ二

發 南西方面艦隊參謀

六 F 機密第〇一二一三五番電及〇一二〇四九番電ト相合左ノ通り取計  
ハレ度

一、人員輸送

(イ) 要輸送人員海軍四二〇名乃至六〇〇 (當方詳細不明) 陸軍搭乗員  
五四二名 (三一輸送艦ニ依リ即時 U S F B 輸送船及輸送艦ニ便  
乗スル如ク發電セルモ其ノ實績ハ目下ノトコロ不明)

通 九九五七  
九七七一

呂二Bラ一八 (一三三二六 KC) G K F 放

片倉 (塩田)  
石島

(1)

20. 2. 4-



- (ロ) 各艦收容人員ハ海軍要員及陸軍搭乗員切半トシ陸軍搭乗員輸送終了後ハ海軍人員ノミヲ輸送  
 (ハ) 神福丸ハタリナオ向 (ア) バリ東方二七哩  
 (ニ) 各艦ニ可能ナル人員數ニ應ジ割當人員數ヲ發令セラレ度  
 (三) ハタリナオ向物件輸送 (緩急順序ハ記載ノ順トス)  
 (イ) 普通揮發油航空揮發油航空兵器多量  
 (ロ) 治療品五〇〇〇人六箇月分  
 (ハ) 小銃彈藥成形ベク多數  
 (ニ) 短移動電信機一組 (ハタリナオ基地用)

1858T

二二 受信一八三四 譯了一八五〇 電〇〇九三六 作 概  
譯始一八〇〇

三〇根戰艦着信艦所

共 符

機密第〇二一二三〇番電

發 四六警司令

戰艦概報第三一號

一月中敵機數ニ敵艦艇ヤツブ來襲概況

一 來襲機數 T B F 一 二六五 P 三八 二〇 P B Y 一 二二九

計四三一

二 來襲艦艇 驅潛艇一 三日間艦砲射撃一

三 目撃通商艦艇 東行大巡二 驅逐艦七 油槽船四 西行大巡一

驅逐艦三 驅潛艇二 油槽船四

四 戰果 擊墜(不確實)二 擊破九

五 被害 戰死五 戰傷六 迫撃砲彈一一六

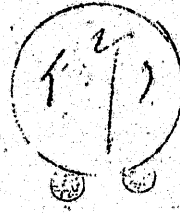
通一〇〇三 口一Bラ一四八一五七一〇EG(三通)加藤(鈴三)

20. 2. 3-

通一二一五 天Dヶ四(六二三五) (十通) 出中) 多 出)

現在佛印水偵 機量不足シ 非ズ 全力ヲ 傾注シ 任務ニ 堪運ス。

機密第〇二二三四二號電



海上 陸橋 艦口。一 護衛 艦隊 口

九三六空

九三六空(カムラン 航空 基地)

急 急

二三 受信二二二一六 開始二〇四〇 轉了二一〇〇 電〇一〇六三 航作 本機〇

20. 2. 3-

二二二 受信 二〇〇三  
七〇 了 二二〇〇  
電 〇〇一〇〇  
一〇七 作 〇・航本

緊急

一設他艦隊



一護衛艦隊航空部隊  
海護總

機密第〇二二四二五番電 二分ノ二

一E電令第五五號

敵機動部隊襲撃ニ對スル飛行機退避ニ關シ右ノ通り定ム

一戰術機及有蓋或ハ完成機掩體壕ニ收容可能ノモノ以外左ニ依リ退避

(イ) 退避種別 (機動部隊所在) (攻撃方面) (一法台 台灣東方 (台灣)

第二法南支那海 (台灣南支) 第三法南支那海 (海南佛領印度支那)

一第四法台灣東方及南支那海 (台灣南支 台灣佛領印度支那)

(ロ) 避退要領 (避退兵力所在) (避退場所) (第一法 台灣 (中南支海南

九州)

通 一一二九 片一Bケ四 (四九一  
一一四六 六七九) 佐二放 齋藤 (見)

第二法 台湾南支（中支九州）海南（佛領印度支那）第三法 海南（  
 台湾）佛領印度支那（昭南）第四法 台湾南支海南（中支九州）佛  
 領印度支那（昭南）  
 一 避退餘裕ナキ場合ハ各基拠ニ在リテ應力被害防止ニ努ム  
 二 避退ノ要請ハ特令或ハ各該地指揮官ノ所定ニ依ル。

人

三三 受信 〇〇〇〇

了 〇〇三九 電 〇一六四八 莫 作

至 急

共

符

作

聯合艦隊口・高倉

大本營海軍部・吳鎮・佐連・一護備艦隊口

機密第〇二一六一七番電 二分ノ二

四六日未明出港ニ付航空糧食一二〇噸(三〇〇立方米)陸軍治療品三

〇火工品(一〇〇立方米)揚陸隊ニ患者收容其ノ他搭載物件積込方

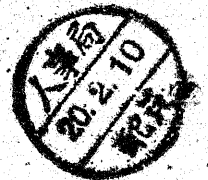
可然御手配相成度

五二日二〇〇〇吳通信系ヲ去リ佐世保通信系ニ入ル(廿一〇五)四日

〇六〇〇高倉(夕二〇二)

(電信課註)本電發信者高砂丸(病)ニ本電二分ノ一既配布

通一二一七 天二Bケ四(佐通 村尾(見))



20. 2. 5

二二 受信二〇一三  
開始二〇四〇

譯了二二二〇

航作〇本〇〇

緊急

廣屋航空基地



海上護衛總部隊各戸・紀伊水道部隊  
濟州島航空基地

支那方面艦隊戸。第二二戰隊戸。九五一空

機密第〇二一六四三番電

發 八〇一空司令

海護總機密第三一一六五一番電關聯

攻擊七〇三飛行隊陸攻六機（指揮官渡邊大尉）明三日〇九〇〇鹿屋發  
濟州島二六三〇進出、豫定。

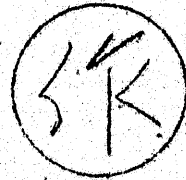
通一五五 呂一B々四（四九一五K）佐藤一平澤（機）

20. 2.3

人

二二 二二 譯始一八三〇 了二〇五〇 〇〇九七七 作稿〇

緊急



五基地航空部隊戰圖概報着信艦所

ヤツブ航空基地



三

〇

根

△

機密第〇二一六四五番電

二日 戰圖概報

一〇九〇〇一〇九二五 F 四〇一八機二九〇度大艇一機一二〇度

一四〇度方向ヨリ進入港灣地區投擲後 F 四〇一八機各一機

七〇度ニ去ル一三四〇一四一五 F B F 一七機大艇一機九〇度

P 三八一機一三〇度ヨリ來襲トミール・ヤツブ島投擲後九八度ニ

去ル〇九四五水偵二機一三五度ニ五軒ニテ四〇度ニ進ム其ノ他

視界内飛翔タダラス西行四機

三戰果ナシ

三被害ナシ

一〇八三二二 (一五七一〇) 三遊 久保田 (鈴) ソ

20. 2. 3



人

二四 受信一五五〇 譯了—七三五 電〇—八二六 作 概  
譯始一六二〇

緊急

● パラオ第一航空基地



● 第五基地航空部隊戰團概報着信箇所  
● 第三〇特根

機察方。ニ一七。三番

戰團概報二月二日

一、昨二〇三五—〇三四五夜戰延七機威嚇飛行ヲナス

二、四〇延二三機來襲海岸線銃撃數回P三八一機飛行場地偵察

三、視界内飛翔P四UTBF延五機PBY三機B二五 一機輸送機六機

四、戰果被害ナシ

通二〇九七 呂二〇ヲ十四 (一五七一〇K) 三通 佐藤 (榛 澤)

20. 2. 5-